

広報

ながはま

5月号



シートベルト着用の宣言文を読み上げる中野安協支部長

シートベルト着用を宣言

安全協会 長浜・大和支部

死亡事故ゼロをめざして

今月号の主な内容

- 59年度施政方針……………2～3
- 予算の使いみち今年度の特徴……4～6
- 兵頭信男さんら選管委員決まる……7
- 議会・そのほか決まったこと……8
- 一般質問……………8～10
- 町職員人事異動・行政機構図……11
- 町職員録……………12～13
- まちの先覚者(富田栄太郎)……14
- 久保七郎さんVYS活動に功績……15

安全を呼びかけました。
 なお、八日には大和支部でシートベルト着用の宣言が行われました。

春の全国交通安全運動前の四月五日、シートベルト着用推進員の委嘱式が町体育館前で行われました。交通安全協会長浜支部が着用モデル地区に指定され、中野茂明支部長ら三十二人に、富田初大洲署長から委嘱状が渡されました。

中野支部長が「シートベルトモデル地区を設定し、広く町民の協力を得て死亡事故ゼロをめざします」と宣言文を読みあげました。

また、松山から応援にかけつけた松山外車クラブのメンバー十人とともに約三十台の車で町内をパレードし、町長も「ハーレーダビッドソン」の助手席に乗って交通安全を呼びかけました。

理想郷の実現を

開発の推進に全力を傾注

昭和五十九年長浜町議会第一回定例会が、三月十五日から二十一日までの七日間の会期で開かれ、行財政改革が叫ばれる中で五十九年度の当初予算が可決されたほか、臨海土地造成事業特別会計の設置の条例案など四十一件がいずれも原案通り可決。また、長浜町選挙管理委員会委員および補充員の選出、衆議院議員定数は正に開する要望決議書や河辺川ダム調査対策特別委員会の設置など議案

提出の八つの案件は受理採択され、請願文書は継続審議となりました。また、議案審議を前に町長が昭和五十九年度の施政方針を演説。一般質問では五人が質問を行いました。町長の施政方針、可決されたこと、一般質問の模様のあらましをご紹介します。

五十九年度施政方針要旨

はじめに

町長就任以来、西田先生、議員各位、町民の皆さんには、深い理解とご協力をいただき、円滑に町行政が運営されることに、心から感謝を申し上げたい。現下の世界情勢は言うに及ばず、国内の社会経済情勢も極めて厳し

く、資源エネルギーの制約、貿易摩擦の解消など、諸問題が山積している。我が長浜町にとっても、行財政は依然として厳しく、その中にあっても、行政サービスの低下を招くことなく、真に住民の負託に答えるため、将来を見通し、計画的に行財政施策を勇氣をもって執行し、「豊かな文化を持つ町づくり」を行っていかねばならない。

開発については、昭和五十六年十二月、議決された総合エネルギー基地建設基本構想に基づき、そ

開発の推進

の実現に向けて真剣に取り組んでいる。昨年九月から進めてきた環境アセスメントについても、計画どおり進行しており、港湾計画など国・県の指導を得ながら立案中である。我が長浜町の進む方向は、

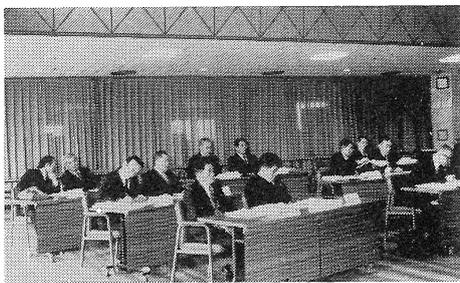


施政方針を述べる二宮町長

全力を傾注して最大の努力をする覚悟である。生活環境施設の整備 地方自治体の本旨は、今更申すまでもなく地域住民の福祉であり、町民の皆さんが、快適で定住できるような生活環境を保全しつつ、豊かで活力ある生活環境をつくることにある。

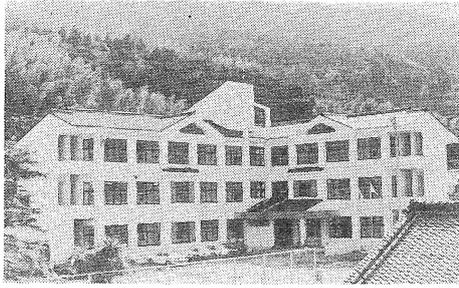
愛媛県が提唱している西瀬戸経済圏構想の中での拠点としての開発であり、本構想の実現こそが、歩むべき最良の道であると判断した以上、理想郷の実現をめざして、たとえ困難が予想されようとも、

そのためには交通体系、上下水道、運動施設、公園、街路などを整備をする必要がある。しかし、現財政事情下での単年度整備はむつかしいので、計画的に整備を行っているところである。



議案審議をする各議員

国道三七八号線の整備については、現在櫛生工区について施工中であるが、昭和五十九年度から、櫛生〜出海間の工事に着手する予定であり、早期完成に努力する。県道の整備は、長浜〜保内線、長浜〜中村線、櫛生〜大洲線などの改良促進を図りたい。不燃物処理場整備については、町民の皆さんの日常生活にとって深刻かつ切実な問題であり、地元のご協力を頂きながら、昭和五十九年度完成を目ざしている。上水道の改良については、一部配水管の布設替え、水源確保に伴う事業費等を計上、早期完成を目ざし、良質の飲料水を豊富に町民の皆さんに供給するよう努めたい。公営住宅は、地域改善事業で大谷口に全体で十六戸建設する予定であり、道路などと相まって環境整備を図りたい。集会所については、情報化社会の中でのコミュニティ活動の場と



58年度に完成した出海小学校

教育施設の整備

して重要であり、豊茂、柴大越、橋立などへ建設を計画している。集落と集落を結ぶ生活道については、将来の町づくり長浜町振興計画基本構想に基づいて、重点的に改良新設を行うと共に、地域の実態に即した対応を進めるが、極力補助率の高いもの、有利なものを導入して整備を進めたい。

本町は教育の重要性を認識して厳しい財政の中でも施設の整備に努めてきた。昭和五十八年度は出海小学校を完成させ、本年度は柴小学校改築を計画している。

しかし、まだ附属施設の整備は不十分であり、中長期財政計画の中で要望にそって順次整備をしていきたい。

教育は、施設の充実で事たるものではなく、児童生徒に対し愛情

と厳しさを必要として、家庭、学校、社会教育の連携によって本町教育の実を上げるべきだと思う。

最近、町民の皆さんから社会教育、社会体育について関心が高まっているが、その中でも、とりわけ社会体育に対する要望が多様化しており、そのような中で勤労者体育センターが完成した訳である。この施設を町民の皆さんの健康づくりの場として、大いに活用して頂きたい。

特に最近青少年の非行犯罪の増加が大きな社会問題となっており、社会教育に重点をおき、公民館活動を中心に、あらゆる施設を利用して人づくり教育に徹したい。

福祉対策

高齢化社会が進行する中で、老人福祉対策は町行政の重要課題である。高齢者、障害者など社会的に恵まれない真に社会福祉を必要とする人たちに、温かい愛の手をさしのべることである。そのため家庭奉仕の充実、生きがい対策など、どのような形でつくり上げていけばよいか、極めて急を要する課題である。

また、国民健康保険制度の改善も町村にとって重要であり、老人医療制度と合わせ財政の増強策を考える必要がある。

児童母子対策については、その強化を図るためにも、保育所のあり方について見直しを行い、地域

にふさわしい保育所づくりに努め、真に保育を必要とする児童の措置が適切に実行できるよう体制づくりに努めたい。

母子福祉についても、貸付制度の枠や条件をゆるめて利用しやすくし、障害児をかかえる家庭や、介護を必要とする家庭には、介護人派遣などの内容を検討、その充実を図りたい。

各種産業の振興

地域における経済基盤の確立を図るためには、各種産業の振興活性化が極めて重要な課題である。

農業の基本姿勢は、みかんを基幹作物として、養蚕、野菜、葉たばこ、畜産と多種目にわたり振興を図ってきたが、農畜産物の貿易自由化や国の政策の変化などにより、農業をとりまく諸情勢は極めて深刻である。自由化阻止と国の政策変更を強く求めると同時に、県が提唱する「町一品運動を進め、土壌の基盤整備をして、複合経営により農業収入の増大を図る必要がある。農協を母体として生産意欲を結集し、緊密な連携をとりながら農業の振興に努めたい。

林業については、脇川流域域林業振興計画に基づいて、優良林の生産指導を行うと共に、松くい虫跡地対策や、しいたけ生産の振興、原木確保のため育林をして経営安定を図りたい。



町の「特産品」に指定されたキウイフルーツ

予想以上に厳しい中で、漁業の拠点である漁港の整備を計画的に進める一方、魚族の繁殖を促す魚礁設置は継続的に取り組みたい。昨年度から、新沿岸漁業構造改善事業に総額約二億円をかけて取り組んでおり、完成後には魚礁及び施設の整備が出来上がり漁業振興に大いに貢献するよう努めたい。

商工業の振興については、第二次開発を進め完成させることにより雇用の増大が図られ、人口増による購買力の増大と、企業活動の活性化による商工業の進展に大きな期待を持っており、このこと以外に活路はないと考えている。

現在のところは、商工業の体質改善を図り、町外で購買しようとする意欲を長浜町に止める対策、特に、商店街の整備、店舗の改装などを実施し、サービス向上のため、経営者づくりができるような指導、援助を行い、地域に根ざした消費者に信頼される小売業者の

育成に努めたい。

行政改革に 対応

行政改革については、国においても最重要課題として取り上げ、検討を加えているが、町としても必要性を痛感して、昨年度から取り組みんでいる。

特に、役場の機構、行政システムについては、簡素、合理化を図るとともに、コンピューターなどを導入して、事務の正確、迅速化を図って参りたい。

そのほか、事業の広域化なども含めて精力的に検討を進め対応したい。

おわりに

町民の皆さんに信頼され、喜んでいただける「楽しく住みよい町づくり」「豊かで働きがいのある町づくり」「美しい人情と文化の町づくり」ができるかどうかである。このためには、私と議員各位のご理解とご協力、町職員の厳しい行政の現状認識とそれに対応する努力、町民の皆さんの積極的な行政参加のもとに魅力ある長浜町をつくり上げることである。

皆さん一人ひとりの心を心として、次の世代へ誇りをもって引き継ぐことのできる長浜町にしていきたい。今後ともより一層のご指導、ご協力をお願い致します。

議会・予算の使いみち今年度の特徴

全般的な特徴

本年度における地方財政は、昨年度より更に厳しく、全科目において慎重に見直しを行い、財政の健全化を基調にした国の方針にそって、財源の重点的かつ効率的な配分を行

新しい事業や、とくに力をそそぐ事業、前年度当初予算に比べて大きく変化の生じたものなどを「特徴」とし、まとめてみました。(文中の％は、前年度当初予算との比較。一般会計の目的別費目総額の()内の％は、同予算の総額に占める同費目予算の割合)

予算の使いみち今年度の特徴

い、節度ある財政運営を図るようにしています。社会経済情勢や行政改革の方向に

臨海土地造成事業特別会計を新設

昭和59年度

昭和59年度の当初予算が次の通り決まりました。(％は前年度当初予算との比較)

【一般会計】32億 6,448万3千円(2.4%増)

【臨海土地造成事業特別会計】16億 8,400万円。

【国民健康保険特別会計】7億 8,628万2千円(20.1%増)

【国民健康保険直営診療所特別会計】710万6千円(3.8%増)

【住宅新築資金等貸付事業特別会計】8,067万1千円(20.2%増)

【港湾施設特別会計】1,000万円(4.2%増)

【老人保健特別会計】4億 5,531万7千円(13.5%増)

【簡易水道事業特別会計】1億645万円(7.2%減)

【水道事業会計】収益的收入予定額 9,229万7千円。収益的支出予定額 9,198万6千円。資本的収入予定額 2億 7,998万円。資本的支出予定額 3億 100万8千円。

【工業用水道事業会計】収益的収入予定額 2,252万 2千円。収益的支出予定額 2,187万9千円。資本的収入予定額 1,200万円。資本的支出予定額 1,670万4千円。

総務費

- 一般管理・文書
広報・有線放送
電話・財産管理
企画・事務連絡
生活行政
推進・徴
税・戸籍
住民登録
選挙など



金のこと

3億 4,553万 4千円(10.6%)

一般会計

向に対応するため、一般行政経費の徹底節減を図り、住民生活に直結した事業の導入に努め、今後における事業取り組みは効果、効率を見極めていく姿勢で当初予算を編成しています。

環境アセス調査委託料など

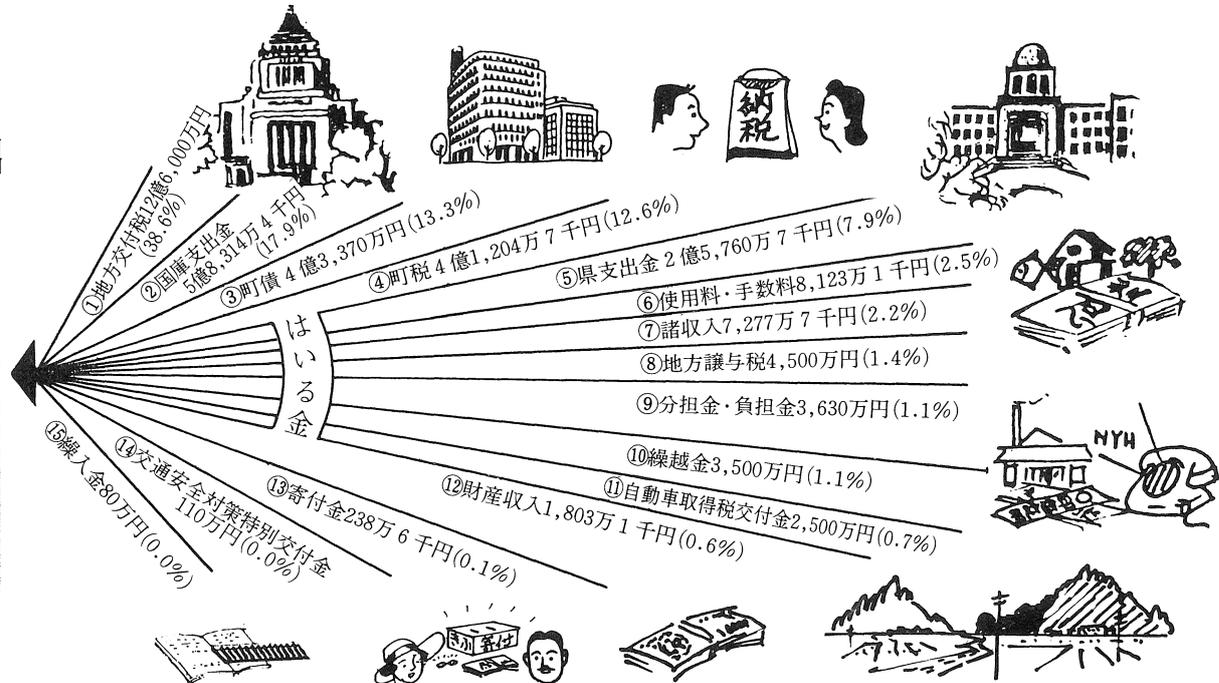
有線放送施設は、今坊、出海幹支線改修工事をするにしています。

区長会研修旅費として三百三十三万六千円。農業委員選挙費百三十八万五千円。漁業海区調整委員選挙費百九万八千円。学校基本調査、工業統計調査、石油等消費構造調査、農業センサスなどの年にあたっているため、

一般会計

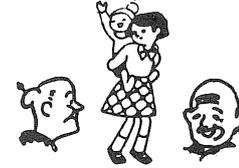
円の歳入歳出

字は金額の順位)占める割合)



議会・予算の使いみち今年度の特徴

その経費二百四十九万八千円。
コミュニティ活動の施設として豊茂の本村地区と柴の柴越地区に集会所を建設することになっています。また、下平、田淵地区集会所には陽だまりの部屋を設置することになっています。
企画費では、開発事業に関する環境アセスメント調査委託および過疎バス補助金、離島航路補助金などを計上しています。



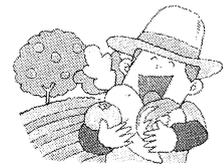
民生費

老人福祉・児童福祉・母子福祉・国民年金・生活保護・災害救助などにお金のこと

8億4,112万9千円(25.8%)

地域改善向公営住宅を建設

地方改善事業四件で二億七千七十五万一千円を計上しています。地域改善向公営住宅を今坊地区に六戸建設することになっています。社会福祉協議会への補助金三百五十万二千円、ホームヘルパー委託料二百四十七万三千円、心身障害者、長期療養者、施設入所者への見舞金二百三十万七千円、民生児童委員等に三百万七千円計上しています。



農林水産業費

農業・林業・漁業関係などにお金のこと

5億1,601万8千円(15.8%)

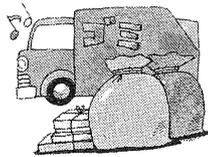
漁業近代化施設整備など

漁業委員会組織の運営と農地等の利用関係の調整、争議の防止、および農地流動化の有効利用推進などのため七百九十四万六千円を計上しています。
農業振興では、農業生産総合振興対策として、かんきつ産地再編整備特別対策事業などの補助金一千百三十一万一千円。
畜産振興関係では、水田裏飼料高品位生産対策事業、酪農総合共進会補助などの経費を計上しています。

老人福祉関係では、高齢者年金に三百六十万円、敬老会関係に三百九十万円、老人クラブ助成金百七十一万円などを計上しています。母子福祉では、零歳児、母子医療費に六百六十五万五千円などを計上しています。

汚水処理施設を建設

現在使用中の不燃物処理場は、昭和五十九年度をめぐりに使用不能となるため、昭和五十八、五十九年度の二か年計画で県単補助事業により、面積五千二百七十八平方尺、埋立可能量一万四千三百二十三立方尺、埋立使用年数約十か



衛生費

保健衛生全般・公害防止・汚物処理などにお金のこと

2億6,392万円(8.1%)

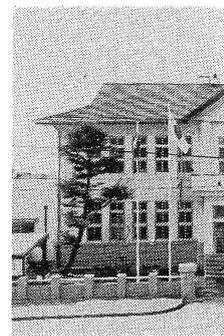
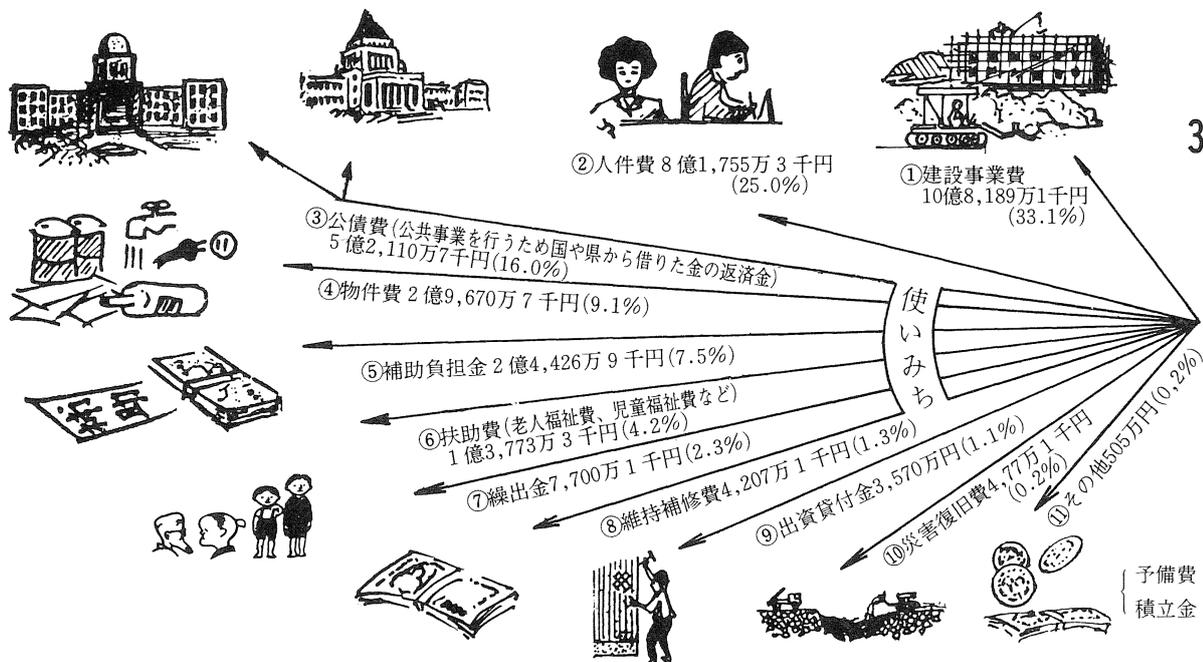
水産振興では、漁場環境の保全整備開発、資源の培養、漁場管理体制の充実を図るため、魚礁設置、築いそ事業に一千五百二十五万円、近代化施設整備、魚貝類の増殖を図るため稚魚、稚貝の放流およびたこつぼ投入事業などの補助に二千五百四十五万円を計上しています。
団体営土地改良事業では、節生三地区の農道舗装を行うことになっています。

六千円。
林業振興では、林業経営の安定を図るため、松くい虫被害跡地造林対策補助および中核労働員養成確保対策に百二十三万円。間伐促進対策事業、しいたけ生産に対する整備事業などの経費を計上しています。

性質別に

32億6,448万3千

(金額は千円単位)
(①②など円内数)
(%は予算総額に)



議会・予算の使いみち今年度の特徴

年の規模で、峯大越地区に建設しています。このほど埋立処分場が完成し、五十九年度には、汚水処理施設を二千八百五十万円で建設することとしています。

老人保健法が施行されて二年目を迎え、今年も四十歳以上の方を対象に、健康教育、健康相談、健康診査、訪問指導など各種の事業を行うこととしています。また、四十歳未満の方に対しては、今まで通りいろいろな保健事業を行い、早期発見、早期治療に努め、皆さんの健康増進を図ることとしています。



土木費

- 道路
- 河川
- 港湾
- 下水
- 道・交
- 通安全
- 施設な
- どに使
- うお金
- のこと

2億8,337万6千円(8.7%)

柿ノ久保線ほかの改良、舗装を

道路関係では、舗装道路の補修など維持管理を行うこととしています。

町道改良新設関係では、過疎計画による中長期計画を踏襲して計画的に整備を図ることとしています。町道柿ノ久保線ほか十か所の改良および舗装事業をすることとしています。

下水道では、衛生的な生活環境の確保を図るために管渠(かんきよ)の清掃、改良など排水機能の維持を図ることとしています。また、通行上危険と思われる箇所には防護柵を設置し、交通安全対策を講ずることとしています。



商工費

- 商業
- 工業
- 観光
- 関係に
- 使うお
- 金のこ
- と

2,673万3千円(0.8%)

商工業の振興及び観光事業の推進

商工業の振興および観光事業の推進を図るため、商工会育成補助金、観光協会補助金、中小企業振興資金の利子補給および保証料を計上しています。

また、外灯の修繕および公園の維持管理の経費を計上しています。



消防費

- 防火防
- 災のため
- に使うお
- 金のこ

9,202万9千円(2.8%)

消防施設の充実

今年度も消防施設の充実を図るため、四十立方メートル級の防火水槽一基(出海沖地区)、二十立方メートル級一基(豊茂上地区)を設置すること

にしています。長浜分団第四部へ小型動力ポンプ積載車を購入することとしています。

教育費



- 学校教
- 育・社会
- 教育の全
- 般に使う
- お金で水
- 族館・公
- 民館・保
- 健体育・
- 校舎建設
- などの費
- 用も含ま
- れます

3億483万7千円(9.3%)

柴小学校の校舎改築費など

柴小学校の校舎改築工事、大和喜多灘小学校のプールサイドの補修工事、各公民館の修理などをすることとしています。



災害復旧費

- 災害を受
- けたか所を
- 復旧するた
- めに使うお
- 金のこ

477万1千円(0.1%)

朝日・大峰線ほかの復旧を

昭和五十八年九月二十八日の台風十号による豪雨で各施設に被害を被り、昨年度も復旧に鋭意努力

し、農林省関係では一〇〇%、建設省関係で五五%完成しており、今年度は町道朝日・大峰線ほか四か所の復旧をすることとしています。

特別会計

国民健康保険

7億8,628万2千円

びが予想されるため、約二〇%の増額となっております。保健施設を充実して疾病予防対策を図ることとしています。



老人保健

4億5,531万7千円

老人保健法に必要な医療費を計上してまいります。総額で二三・五%多くなっています。



国保直診

710万6千円

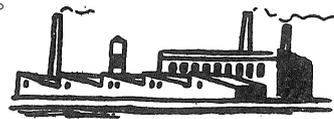
累積赤字解消分百万円および単年度事業赤字解消のため百四十二万二千円を繰り入れて赤字額を解消するよう努めています。



土地事業

16億8,400万円

二次開発事業を推進するため、諸調査委託料や工事請負費などを計上しています。



港湾施設

1,000万円

一千万円計上して港湾施設を管理することとしています。



資金新築住宅等貸付事業

8,067万1千円

本年度は、新築五件、改修五件、用地取得二件の希望がある見込みです。総額で二〇・二%多くなっています。



簡易水道事業

1億645万円

今年には西南地区簡易水道の配水管を引き続き布設するための工事費などを計上しています。



家庭奉仕員の派遣枠を拡大

所得税課税世帯は有料

低所得世帯のねたきり老人や心身障害者などで、介護を必要とする世帯に限って、家庭奉仕員の派遣をしていましたが、四月一日から、所得税課税世帯についても有料で派遣することができるようになりました。

その額は次のとおりです。

派遣申出者の属する世帯の生計維持の中心となる者の所得税が、三万円未満の場合は、一時間当り二百九十円。三万円以上の場合は一時間当り五百八十円。

議員報酬、三役・教育長給与を改正

一般町職員の給与は、昨年の四月にさかのぼって改正されましたが、議員、特別職については、昭和五十七年四月以降の給与改正がなく、一般町職員と給与の不均衡を生じており、これを是正するために「長浜町議会議員等の報酬、費用弁償及び期末手当支給に関する条例」「長浜町長、助役、収入役給与条例」の一部をそれぞれ改正、今年の四月から報酬や給与月額を次の通り改めることになりました。

なお、この改正に当たっては、さる二月二十八日に特別職報酬等審議会の審議を経ており、同審議会の答申に基づいた改正となつて

います。()は改正前の額。

【町議会議員報酬月額】議長 七十一万円(六十六万二千元)▽副議長 四十四万五千円(三十三万八千円)▽議員 十三万四千円(十二万七千円)

【町三役】町長 五十三万四千円(五十万八千円)▽助役 四十三万六千円(四十一万五千円)▽収入役 四十万五千円(三十八万五千円)

また、同じ理由により「長浜町教育長給与条例」の一部も改正され、教育長の給与月額が次の通り改正されました。
【教育長】三十七万七千円(三十五万九千円)

特別職、教委、農委の報酬額も改正

常勤特別職や、他町村同職との均衡などを保つため、長浜町特別職職員、同教育委員会委員、同農業委員会委員等の「報酬および費用弁償条例」の一部をそれぞれ改正して、ことしの四月一日から報酬および費用弁償額を次のとおり改めることになりました。()は改正前の額。

【監査委員報酬月額】議員から選任された委員 十六万四千円(十五万六千円)▽知識経験委員 十九万八千円(十八万八千円)

【選挙管理委員会委員報酬月額】委員長 四万円(三万八千円)▽委員 三万五千円(三万三千元)
【教育委員会委員報酬月額】委員長 二十一万円(二十万円)▽委員 十八万七千円(十七万八千円)

員 十六万四千円(十五万六千円)▽会長代理 十五万一千円(十四万四千円)▽委員 十三万八千円(十三万二千元)

河辺川ダム調査対策特別委員会を設置

県議会で明らかになったように、河辺川ダムが構想に上り、肱川とともに生き、繁栄してきた長浜町としては真剣に検討しなければならぬ段階となったことから、河辺川ダム調査対策特別委員会を設置して対応していくことになりました。

河辺川ダム調査対策特別委員会委員は次の通り。(敬称略)
大本春明、二宮英二、山本薫、城戸岡政雄、桜田和夫、菊地満男、二宮義徳、浦田定

衆議院議員定数は正に關する要望決議書を採択

「衆議院議員定数は正問題は、愛媛三区も定数は正対象区に該当しており、国土の端ばしの地域に当たる代表者は激減し、その地域の国民の声は国政に反映されなくなる。行政区域の面積等も考慮のうえ、現状維持を強く要望する」という旨の決議書が採択されました。

継続審議に

国立病院、療養所の廃止などに反対の請願書
国立療養所愛媛病院全医労愛媛

支部富野宏氏、同松山支部支部長三好俊一氏、国立立目療養所全医労出目支部支部長山崎正氏から出されていた「国立病院、療養所の廃止や地方移管、民営化、現場業務の民間下請けに反対し、医療従事職員の必要な増員を求むる決議採択について」の請願書は継続審議することになりました。

請負契約の締結を承認

昭和五十八年度沖浦漁港改修工事は西防波堤の消波工四〇・八畝を施行するもので、四千七百万円で株式会社西田興産と請負契約を結ぶことが承認されました。

緑の町づくり事業費など

昭和五十八年度一般会計予算は一億八千六百八十五万五千円が補正され、予算の総額は三十八億四千四十八万一千円となりました。補正したおもな使いみちは次の通り。

【総務費】回覧など文書の配布に使用する軽自動車購入費など。

【民生費】老人保健特別会計への繰入金百七十八万八千円など。

【衛生費】霊柩車購入費。レベルレコーダー購入費など。

【農林水産業費】緑の町づくり促進事業によって、喜多灘小学校の運動場に植栽し、緑のモデル学校として整備する費用など。

【土木費】出海中復線の路肩復旧などに必要な工事費など。

一般質問

今回の議会では、二宮英二議員、小川儀三郎議員、日高照友議員、西宮正幸議員、中野茂明議員が質問を行いました。

勇気をもって

行政の執行を

政治姿勢

二宮(英)議員：政治にたずさわる者には三つの条件、つまり、知恵、人義、勇気が身につけていなければならないことを聞く。どんな小さな計画、大きな計画でも自分自身が頭の中、あるいは体の中で十分認識して計画しなければ実行はむづかしいと思う。計画をたてることについては勇気をもってあたなければならないと思う。親でも偉い人でもないかはまちがうこともあり、その時には勇気をもって意見を述べ、まちがいはまちがいであるというような勇気をもって行政にあたって欲しいと思う。このことについてどのように考えているか。

二宮町長：私が進むべき方向を指示されたのではないかと。政治を行う者ほどどのような姿勢で望まなければならないか常々心掛けており、まだ未完成で今後努力しなければならないかと反省している。十分に研鑽をつんで、姿勢を正しつつ、勇気をもって行政の執行にあたって参りたいと考えてい

更に指導強化を

〔教育問題〕

るので、ご指導をたまわりたい。

二宮(英)議員：小学校の教師の問題について私のところに一通の投書がきた。教師に指導能力の差はあると思うが、教育する能力がないことをたなあげて児童の教育が十分でないというようなことではないかと思う。そのような教師がいるとするならば、反省させなければならぬと思うが、教育長はどのような考えをもっているか。

三井教育長：人はそれぞれ顔も異なれば考え方も、能力もちがいが、長所もあれば短所もある。足りない点を補い、指導していくのは、校長、委員会の配慮すべき点であり、責任でもある。

問題、教員の異動は、能力、年齢なども対象とされ、県の指導を得て解決するのではなく、一委員会ですべての問題ではない。校長の部下職員指導については機会あるごとに指摘しており、今後更に指導強化を図っていききたい。

中長期の計画

を立案して

〔産業振興対策〕

小川議員：貿易の自由化という波が押し寄せて、今月から来月中には結論がでるようである。農家の皆さんの涙ぐましい努力は相当な

効果をあげたことと思う。このみかん問題をどうするか、問題点をしぼって、学的にこれならできると、全町あげてやってみようという案を考えだしていかなければならぬと思う。

全国には、みかん栽培と畜産を組み合わせる有機農業や酪農、養鶏などで成功している例が多くあり、その地域は農協と住民が一体となって考えだし、農協の資本力を使い、上級団体の応援を得てやっているが、長浜町にはそういうものがない。広く住民の意見を聞いてやらなければ産業対策はおろそかになり、どうにもならないような方向に進むと思うが、どう考えているのか。

二宮町長：農業問題についてたいへん詳しく勉強をされており、ご指摘いただいたことは参考として拝聴し、今後の行政の上に反映させていききたい。

行政は、中長期の計画を立案し、それに従って一つ一つ計画的に進めていくことでなければいけないと思う。ご指摘のあったことについては、そのような方向づけをしたいと考えているのでご協力を賜りたい。

住民サービス

を考えて

〔町の行財政〕

日高議員：行財政改革が進められている現在、人件費、公債費などの事務的経費の動向に留意しな

ければならないと思う。幼児の数が毎年減少していることにより、保育所保育の定数問題や配置替えも必然的におこつてくると思うが、その余力能力を老人対策をはじめとした社会福祉対策に転換させていく考えはないか。

また、ここ数年新規職員の採用を控えており、今後高年齢層と若年層の断層が大きくなると思われるが、このことについて具体的にどう考えているのか。

二宮町長：第二次開発という大きな事業を出発させたところであり、そのために住民サービスが後退しないようバランスを保ちながら、きめ細かい施策をやっているかねばならないと考えている。

幼児減少に伴う保育の振り向け、六十歳定年制実施に伴う退職、新規採用の問題については、定員管理の適正化をはかるべく、将来検討して参りたいので、ご理解、ご協力をたまわりたい。

愛護班やスポーツ少年団の育成を

〔町の教育行政〕

日高議員：最近新聞報道でも取り上げられている校内暴力について、生徒間同志から教師へも及んでおり、また、教師に児童、生徒が心を傷つけられたとか、たいへんな時期にきていると思うが、今後これらの問題についてどのような取り組みでいくのか。

長浜小学校の運動場周辺の生け垣



イボタの木が植えられている長小の生け垣

垣からボールなどが周辺の道路へとび出して、交通上まことに危険である。この問題の解決策として、防球ネットを校庭周辺へ張ってはどうかと思うが、どう考えているか。

三井教育長：PTAへの指導協力、学警連絡協議会での対応、社会教育においても公民館活動の一環として、青少年の健全育成を呼びかけており、特に地域の連帯感、指導性が指摘され、この点を重視して愛護班の育成、スポーツ少年団の推進等も含めて進めていきたい。

長浜小学校の外周については、校舎建築計画時に、外観上の美観と防球を兼ね、現在植栽しているイボタの木はあまり大きくならない上に、落葉樹であるので防球の要をなしていないので、今後町理事者と協議の上検討し善処したい。

漁業補償や実施設計などを

〔第二次開発〕

西宮議員：環境アセスメント実施以来半年が過ぎたが、これまで進展してきた状況、また、国、県、企業などへ接触してこられた状況はどうか。

五十九年度にやっておきたいと思われる事業、たとえば国、県、企業との接触、漁業補償、環境アセスメントの公表時期、造成の始まる時期などがわかればおしえて頂きたい。

二宮町長：総合的にみて漁業補償の関係を除いて、伊方原発三三号機残土石材受け入れに支障のないよう諸手続きを進めている。環境アセスメント調査のうち、自然社会環境調査は十一項目のうち十項目が終っている。環境現況調査は二項目が一〇〇%、三項目が五〇%終っており、環境予測調査はこれからである。

港湾区域の変更については、県の港湾課、河川課等の努力により、運輸省、建設省と接触をとっていただき、西田代議士に話をしていただいて事前協議ができたところである。

埋立免許申請については、予備審査と本審査があり、今のところ手をつける段階にはいたっていない。設計書の作成が近く完成する予定であり、残っている問題については全力で対処していきたい。

五十九年度は、漁業補償、実施設計、港湾区域の変更、埋立免許申請、起債の申請などひとつひとつ進めて参りたい。

また、環境アセスメント調査も引き続き実施し、伊方の石材受け入れまでに必要な埋立地の周囲の護岸工事、企業立地の問題についても緒につけていかなければならないと考えている。

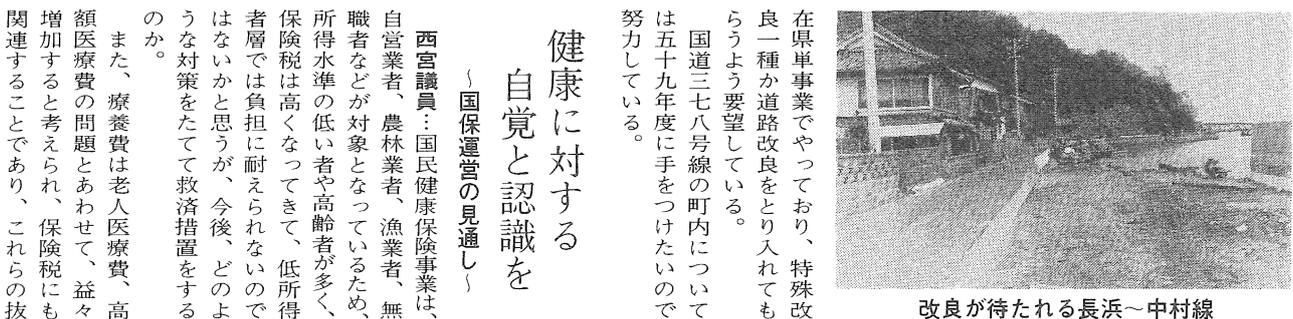
特殊改良か 道路改良で

↳ 県道・国道の改良

西宮議員：県道長浜～中村線のうち、柿早大町間の一部と小浦・沖浦間の一部は道路幅が狭く、特に小浦には町営住宅の団地があり、通勤、通学時には渋滞となりたいへん危険である。この箇所の改良が終るのはいつごろか。

国道三七八号線と接続される場所はどこか。沖浦の裏山をトンネルで結ぶのか、それとも川に沿って接続されるのか。

長浜～中村線のうち長浜区間の全面改良が終るのはいつごろか。また、全線開通するのはいつごろか。



改良が待たれる長浜～中村線

在県単事業でやっており、特殊改良一種か道路改良をとり入れてもらうよう要望している。

国道三七八号線の町内については五十九年度に手をつけたいので努力している。

健康に対する

自覚と認識を

↳ 国保運営の見直し

西宮議員：国民健康保険事業は、自営業者、農林業者、漁業者、無職者などが対象となっているため、所得水準の低い者や高齢者が多く、保険料は高くなってきて、低所得者層では負担に耐えられないのではないかと思うが、今後、どのような対策をたてて救済措置をするのか。

また、療養費は老人医療費、高額医療費の問題とあわせて、益々増加すると考えられ、保険税にも関連することであり、これらの抜

本的な解決策はあるのか。

二宮町長：国保の医療費は著しい伸びをみせており、保険税の引き上げも検討しなければならぬ状況であるが、被保険者に少しでも保険料を軽くしようというところで、一般会計からの繰り入れを行って負担の軽減を図っている。

医療費の抑制については、長期展望にたつた根づよい健康づくりの推進、福祉事業の中で生涯を通じての総合的な健康づくり、健康に対する自覚と認識をもつていただき、住民と行政が一体となって取り組んでいきたい。

国保の被保険者については、適正医療を主眼に、一層の充実効果を図るとともに健全な運営ができるよう努力していきたい。

開発計画の中で

土地造成をして

↳ 文化施設の充実

中野議員：長浜町は、近隣の市町村と比べ、文化施設の充実度が低い。スポーツ施設について、屋外の施設、特に公式試合のできる野球場やサッカー場がない。この点についてどのように考えているか。「臨海開発にあわせて」との声を聞くが、埋立地は生産の場所として別に考えた方がよいと思うかどうか。

本町の中心地に中央公民館のな

図書館は、読書、学習、町民の知的交流の場、民間研究のよりどころとして文化面において欠くことのできないものである。本町は週二日の貸し出しだけという図書室であり、若者たちの内面教育のためにも図書館建設は必要だと思

う。図書館の常時開設、蔵書の質量の充実を図ることが必要ではないか。蔵書数、利用状況とあわせて答えていただきたい。

二宮町長：これをやるには広い敷地や土地を必要とする施設であるので、開発計画の中で土地造成をして生産の場をつくと同時に、生活環境施設や役場、公民館図書館、商工会館などの都市機能施設の整備をして参りたい。屋外のスポーツ施設もあわせて整備をするよう計画をたてているところなのでご了解いただきたい。

三井教育長：文化活動については、人の集まりやすい便利さも欠かせない条件であり、位置、内容、規模、他の施設との関連などを考え、善処しなければならぬと考えている。現在の蔵書数は六千七百五十六冊、利用冊数は二千二百四十四冊、利用者数四千五百五十九人である。

河辺川ダムは

今後の動向を

↳ 脇川流域水資源対策

中野議員：野村ダムが完成し、六十年四月に一部取水が始まり、六十五年ころには南予用水の全工

事が完了したなら脇川の水が流域の外へ流出することになる。この計画前に、国、県、町はその影響等を調査、研究されたと思うが、結果の概要、町の対応を伺いたい。

定例県議会で、中予の水不足対策として脇川からの取水を決定し、建設省に了解を頂きつつあると報道されている。河辺川にダムを造り取水しようとするものと下流に河口せきを設け、潮止め工事をして取水する方法があげられているが、長浜町の自然や産業の環境、町の上水道の水源に影響があるのではないかと心配している。河口に位置する長浜町に法的権利はないか、県からの脇川取水についての打診の有無、この計画が実現した場合の本町における利害はどうか。

二宮町長：野村ダムの完成による影響調査については、県営の事業であり、十分調査、検討がなされ実施されたのだと思う。影響調査については報告を受けなかったもので、調査、内容等の報告をいただくよう関係機関にお願いして参りたい。

河辺川ダムの建設は、河川総合開発の計画の中で考えたということであるが、最下流に位置する長浜町としては深い関心をもっており、今後の動向を見守っていききたい。建設が可能かどうか、川下での水の利用ができるのか、川下での水の利用ができるのか、川下十分検討を加え、そのような問題提起がされた時に対応していきたい。

町職員人事異動・行政機構図

4月1日付けで

81人を異動 町職員

長浜町職員の人事異動を、四月一日付けで行いました。今回の異動者は総数で八十一人。内訳は次の通り。()は機構改革および課内異動者数。

課長級九人(二

人、課長補佐級

六人(五人、係

長級十一人(九

人、書記および書記補級十三人(十

二人。保育所は、主任保母級六人、

保母級八人。このうち教育課長補

佐の渡辺敬が議会議事局長に昇任

しました。

二宮町長は、今回の異動につい

て「一大事業である開発に対応で

きる体制を確立すると共に、教育、

福祉、建設の推進についても一層

の強化を図りながら、中期展望に

たつて中堅係長以上の配置転換を

行い、能力開発主義を主眼とする

ことを基本に行つた」と述べてい

ます。

機構改革によって、振興課を開

発課に改めて、管理係、企業誘致

係、開発係を新設、また農林水産

課を経済課に改め、従来振興課で

担当していた商工観光係を経済課

へ移して産業振興を図ることにし

ています。

四月一日付けで異動した職員は

次のとおり。()は旧任。◎は昇

任、昇格。

【課長級】開発課主幹・清水太郎

(愛媛県)▽住民課長・池上昭夫

(教育課長)▽衛生課長・高橋亮

(議会議事局長)▽水道課長・真

鍋典秋(建設課長)▽教育課長・

酒井義典(住民課長)▽建設課長・

丸山寿一(水道課長)◎議会議事

局長・渡辺敬(教育課長補佐)▽

経済課主幹・波多野進(衛生課長)

▽大和公民館主事・友沢敏(総務

課主幹)

【課長補佐級】開発課技術課長補

佐兼開発係長・山口紘(愛媛県)

◎教育課長補佐兼学校教育係長・

久保博道(建設課港務所長)▽衛

生課長補佐・大野智(農林水産課

長補佐)▽豊茂公民館主事・山崎

一義(住民課事務専門員)◎住民

課長補佐兼福祉施設係長・藤沢豊

彦(社会福祉協議会)▽経済課長

補佐・矢野克(衛生課長補佐)

【係長級】税務課固定資産税係長・

田中宏幸(水道課庶務工業用水道

係長)▽水道課庶務工業用水道係

長・新田道夫(農林水産課農林施

設係長)▽衛生課環境係長・久保

博昌(振興課企画係長)▽住民課

住民係長・和田正義(教育課総務

係長)▽建設課管理係長・中野健

藏(総務課庶務消防係長)▽建設

課港務係長・中野貴夫(住民課住

民係長)▽経済課林業水産係長・

山根勇一(建設課管理係長)◎経

済課事務専門員兼商工観光係長・

平田友幸(税務課固定資産税係長)

◎老人ホーム白山園長補佐・藤本

富雄(櫛生公民館主事)▽教育課

総務係長・下田健三(衛生課環境

係長)▽社会福祉協議会出向・隠

岐龍法(老人ホーム白山園長補佐)

【書記および書記補級】教育課・

中田圭助(大和公民館)▽衛生課・

吉田明美(住民課)▽焼却場・井上

裕重(住民課)▽住民課浦上恵美

子(衛生課)▽住民課・菊地英夫

(振興課)▽建設課・重松直博(農

林水産課)▽建設課・藤岡章男(豊

茂公民館)▽経済課・浪本忠則(焼

却場)▽経済課・城戸広美(老人ホ

ム白山園)▽税務課・宮上孝一(農

林水産課)▽総務課・亀田稔(税務

課)▽開発課・岡田好光(建設課)

【その他課内昇任昇格者】◎総務

課長補佐兼庶務消防係長・山下国

広◎総務課長補佐兼企画財政係長・

山本勝延◎開発課長補佐兼調整係

長・宮田猛義◎総務課事務専門員

兼管財係長・山下仁◎経済課事

務専門員兼農地係長・笹本栄一◎

衛生課衛生係長・西本幸雄◎建設

課公共土木係長・菊地洋一

【主任保母級】沖浦・池田スミ子

(喜多灘)▽出海・石川令子(長

浜)▽喜多灘・藤渕美枝子(大和)

▽長浜・大成節子(出海)▽白滝・

西田清子(沖浦)▽大和・宮岡民

子(白滝)

【保母級】長浜・矢間栄津美(喜

多灘)▽大和・沢田幸子(住民課)

▽長浜・鈴木佳代子(櫛生)▽白

滝・児玉智代(出海)▽櫛生・矢

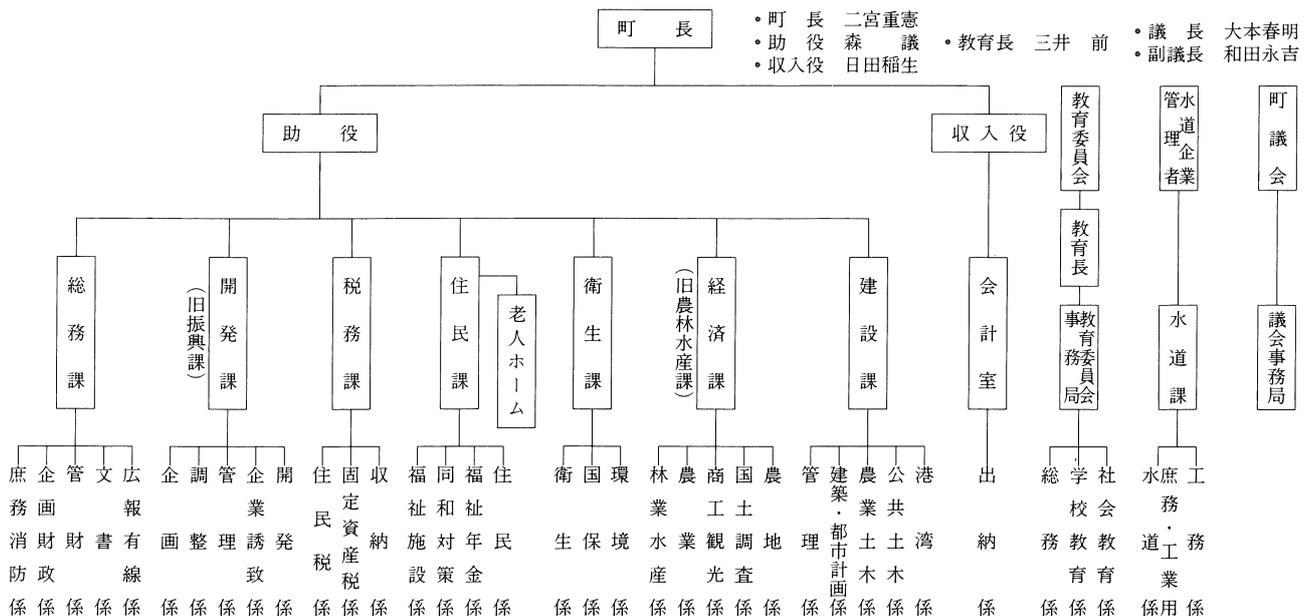
野越子(大和)▽大和・矢野幸子

(長浜)▽喜多灘・吉岡とよ子(大

和)▽出海・白石玉子(白滝)

【退職】教育課用務員・坂井英雄

長 浜 町 行 政 機 構 図



長浜町職員録

本 庁

憲 議 生
重 稲
宮 田
二 森 日
長 役
町 助
入 役

総務課

課長 上田 邦彦
 課長補佐 山下 国広
 〃 山本 勝延
 (兼)係長 (庶務消防係) 山下 国広
 主事 都築 住江
 技手 成田 信重
 書記 上地 末子
 〃 垣見 正志
 婦人交通指導員 稲垣美恵子
 嘱託 東 ツキエ
 (企画財政係) 〃
 (兼)係長 山本 勝延
 書記 松岡 陽規
 事務専門員兼係長 山下 一仁
 書記 楠野 茂利
 (文書係) 〃
 係長 山根カヨ子
 主事 横道 里見
 書記 亀田 稔
 (広報有線係) 〃
 係長 叶本 正
 技術専門員 大野 泰俊
 技手 熊本 真弓
 書記 大本 昭裕
 〃 三浦 直重
 〃 菊地 直美
 県派遣(企業振興課) 〃
 書記 窪 清一

開発課

課長 泉 芳信
 主幹(県職員) 清水 太郎
 課長補佐(〃) 山口 紘
 課長補佐 山本 辰雄
 〃 宮田 猛義
 (企画係) 〃
 係長 洲尾 計邦
 書記 都築 小富
 (調整係) 〃
 (兼)係長 宮田 猛義
 書記 西山 健市
 (管理係) 〃
 (兼)係長 山本 辰雄
 書記 西岡 敏博
 (企業誘致係) 〃
 係長 上川 慶信
 書記補 菊地 博幸
 (開発係) 〃
 (兼)係長 山口 紘
 技手 岡田 好光
 課長 小川 平
 課長補佐 石住 武俊
 (住民税係) 〃
 (兼)係長 石住 武俊
 書記 小西 貫一
 書記補 宮上 孝一
 (固定資産税係) 〃
 係長 田中 宏幸

住民課

書記 宇都宮芳文
 〃 稲田 宏
 (収納係) 〃
 係長 政所 友邦
 書記 三秋レイ子
 課長 池上 昭夫
 課長補佐 木下 保利
 〃 藤沢 豊彦
 (福祉施設係) 〃
 (兼)係長 藤沢 豊彦
 栄養士 大橋 京子
 書記 河内 厚子
 保母 矢野元朝子
 嘱託 岡 志喜子
 (同和对策係) 〃
 (兼)係長 木下 保利
 書記 久井 一
 (福祉年金係) 〃
 係長 平田 豊子
 書記 大國 尚子
 〃 滝内 仁
 〃 宇根やす子
 〃 菊地 英夫
 (住民係) 〃
 係長 和田 正義
 書記 城戸 茂利
 〃 浦上恵美子
 〃 友沢あつ子
 事務専門員(社協担当) 〃
 隠岐 龍法

衛生課

課長 高橋 亮
 課長補佐 大野 智
 (衛生係) 〃
 係長 西本 幸雄
 書記 坂東 敏幸
 看護婦 平田美佐子
 〃 平田由美子
 保健婦 一宮 和子
 〃 原間 雅子
 (国保係) 〃
 係長 村上 隆志
 書記 吉田 明美
 (環境係) 〃
 係長 久保 博昌
 書記 久保田健市
 (焼却場) 〃
 技術専門員兼主任 大野 勇
 技手 井上 裕重
 課長 石丸 英雄
 主幹 波多野 進
 課長補佐 矢野 克
 〃 中田 晋
 (林業水産係) 〃
 係長 山根 勇一
 書記 吉田 直人
 技手 森内雄二郎
 (農業係) 〃
 係長 二宮 正昭

建設課

書記 久保 文章
 (商工観光係) 〃
 事務専門員兼係長 平田 友幸
 書記 城戸 広美
 (国土調査係) 〃
 係長 上田富喜男
 書記 浪本 忠則
 〃 一宮 義道
 (農地係) 〃
 事務専門員兼係長 笹本 栄一
 主事 日野 敏子
 課長 丸山 寿一
 課長補佐 佐々木晋一
 (管理係) 〃
 係長 中野 健蔵
 書記 宮下紀久重
 〃 清水 俊三
 (建築・都市計画係) 〃
 技術専門員兼係長 西田 孝
 (農業土木係) 〃
 (兼)係長 佐々木晋一
 技手 重松 直博
 〃 戎 徹
 (公共土木係) 〃
 係長 菊地 洋一
 技手 三秋 敦司
 〃 山本多喜男
 〃 藤岡 章男
 (港湾係) 〃
 係長兼港務所長 中野 貴夫
 書記補 久保 嘉範

教育委員会
教育課

教育長 三井 前
 課長 酒井 義禹
 課長補佐 久保 博道
 (総務係)
 係長 下田 健三

(学校教育係)
 (兼)係長 久保 博道
 書記 大本みつ子
 (社会教育係)
 係長 上満 治雄
 社会教育主事 菊地 邦求
 中央公民館主事 矢野上和雄
 書記 中田 圭助
 指導員 岡野 勝敏
 藤井 嘉友

水道課

嘱託 久保カヅミ
 課長 真鍋 典秋
 課長補佐 大元 宗一
 (庶務・工業用水道係)
 係長 新田 道夫
 書記 松本伊代子

会計室

技手 藤本 修二
 係長 植杉 岳志
 技師 森川 純行
 技手補 谷上 真悟
 室長 上川 万敏

議事事務局

事務専門員 宮岡 龜古
 書記 久保美恵子
 局長 渡辺 敬
 書記 松本 治子

老人ホーム

園長 久保 弘
 園長補佐 藤本 富雄
 生活指導員 大野 良子
 主任寮母 富岡トシコ
 寮母 清水 藤子
 一宮トモエ
 清水 愛子
 松本 和重
 永木喜美子

隣保館

(出海連絡所・出海公民館)
 主任兼主事 清水 康則
 (豊茂連絡所・豊茂公民館)
 主任兼主事 山崎 一義
 (大和連絡所・大和公民館)
 主任兼主事 友沢 敏
 (白滝連絡所・白滝公民館)
 主任兼主事 窪 憲一

保育所

(長浜中学校寄宿舎)
 調理員 中谷トリエ
 (豊茂診療所)
 看護婦 坂田 嘉代
 (豊茂診療所)
 看護婦 宝生 房子
 (出海診療所)
 看護婦 高田 美香
 (柳生診療所)
 看護婦 西田 清子
 児玉 智代
 佐竹千恵子
 宮本 邦子
 児玉クミ子
 (沖浦保育所)
 所長 下田 美澄
 池田スミ子
 吹春みね子
 山本 直美
 戎 裕子
 田丸 富枝

保育所

(長浜保育所)
 所長 谷川 俊子
 主任保母 大成 節子
 保母 三好 五月
 矢間栄津美
 平野 悦子
 鈴木佳代子
 浪本 満子
 調理員 山本美智子
 (柳生保育所)
 所長 大藤 恭子
 主任保母 田村 恒子
 保母 大野ギン子
 矢野 越子
 笹本 直江
 (出海保育所)
 所長 玉井 徳美
 主任保母 石川 令子
 保母 木ノ本律子

保育所

(喜多灘保育所)
 所長 西宮 幸子
 主任保母 藤渕美枝子
 保母 吉岡とよ子
 横山 典子
 岡崎美智子
 (豊茂保育所)
 所長 西岡 房子
 主任保母 萩森理恵子
 保母 菊地さと子
 清水 郁子
 楠野 幸子

連絡所

(喜多灘連絡所・今坊公民館)
 主任兼主事 小林 吉安
 (柳生連絡所・柳生公民館)
 主任兼主事 山本 安広

診療所

(青島診療所)
 看護婦 赤丸 恵子
 主任 松石 之道
 嘱託 三石むめ志

水族館

主事 山本 安広

学校

(長浜中学校寄宿舎)
 調理員 中谷トリエ

学校

(沖浦保育所)
 所長 下田 美澄
 池田スミ子
 吹春みね子
 山本 直美
 戎 裕子
 田丸 富枝

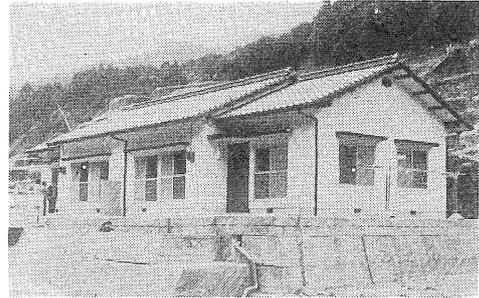
学校

(大和保育所)
 所長 山本コトエ
 主任保母 宮岡 民子
 保母 沢田 幸子
 梶本 幸子
 西山みち子
 矢野 幸子
 都田 悦子

ルポ・まちの先覚者

人口減少の歯どめ

豊茂公営住宅

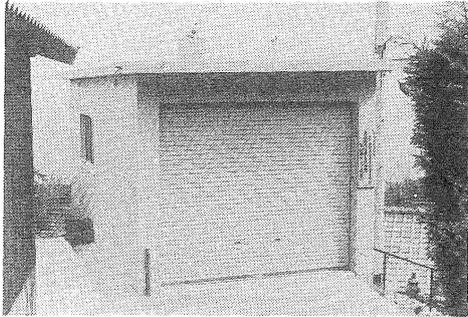


昨年十二月五日から豊茂地区に建設を進めた公営住宅がこのほど完成した。木造平屋建て建築面積二一八・八五平方メートル、総工事費一千五百二十万円。部屋は六畳一四・五畳一、六・五畳のキッチン、洗面所、浴室などがあり、過疎化の進む中で少しでも人口減少の歯どめになって欲しいもの。

非常時に役立てて

ポンプ蔵置所が完成

長浜分団第四部(黒田地区)に工業再配置促進補助事業で建築を進めていたポンプ蔵置所がこのほど完成。事業費は二百十四万円、補強コンクリートブロック造り、建築面積二二・二七平方メートル。五十九年度はここに小型動力ポンプ積載車が入る予定。



熱演に踊り歌に

三月三十一日、大和公民館で大和青年団による演劇発表会が行われた。地元団員および白滝の団員も加わって演劇「泣き虫アクマ」や「農兵節」の踊り、歌、たおよそ六十人の人たちから盛んな拍手をあげた。青年団活動が活発になって欲しいもの。



無事故を祈って

交通茶屋を開設

春の交通安全運動期間中の四月十三日、上老松の松田製材所付近で交通茶屋を開設。安全協会の役員と婦人交通指導員がヤクルトとチラシを配って交通安全を呼びかけた。歩行者もドライバーも交通ルールを守って事故をなくしたいもの。



まちの先覚者 ⑭

富田栄太郎



書と言えは嵐堂、嵐堂と言えは書と言われるほど有名な書家富田栄太郎(元長浜中学校長富田運夫の叔父)は、明治五年(一八七二)十一月十六日長浜町仁久二八番地に、富田茂平の五男として生まれた。

現在町長室に掲げられている。長浜の旧家・旅館等に嵐堂の書が多数所蔵されている。一方俳句の方でも、二十歳ころから旧派の涛声会・松風会に入り、明治三十八年には西村兵太郎の新派「シブキ」にも加入し、大正末期まで句会の中心として活躍した。舩舟の句を次に挙げておく。

舩川に春流れゆく白帆かな
暮れてゆく秋や塩屋の遠煙り
湯豆腐や勤王の士の仮住居
船の灯のちらちら寒し鳴く千鳥
初汐や築港将に成らんとす

富田家は数代以前から材木商を営み、栄太郎もその業に従事したが、余暇に書道と俳句を研究した。ことに書道については、明治三十九年大日本選書奨励会、同四十三年七月大阪毎日・朝日新聞社主催観覧会第四回展覧会、大正六年(一九一七)八月海南新聞社主催書画展覧会に各々入賞している。晴嵐堂は月には栄太郎の書と俳句の号である。

住吉神社の境内に「日清役当町出身従軍者氏名碑」が明治二十九年に建てられたが、嵐堂二十四歳の書で、表に氏名、裏に「み社に気高くにほふ桜かな」と嵐堂の句が流暢に彫られている。



大正九年愛媛材木会社の専務取締役になったが、木材の不況から昭和の初めに神戸に出て製鋼所の秘書となり、関西書壇で活躍した。昭和二十年二月二十八日七十四歳で没した。弟子に田淵曉村(長浜幼稚園長田淵温子の父)、築地松園がある。(長浜町文化財保護審議会委員・久保七郎)

表彰***

久保七郎さん

VYS活動に功績



長浜の久保七郎さん（七〇）は、永年にわたりVYS活動に功績があったことにより、三月二十日宇和島市役所で開かれた第二十七回VYS大会の席上、白石春樹愛媛県知事から表彰されました。

お知らせ

現況届の提出を

国民年金

国民年金の障害年金、母子年金、遺児年金、寡婦年金のいずれかの年金を受けている方は、毎年五月中に「国民年金受給権者現況届」を提出しなければなりません。この届は、引き続き年金を受ける権利があるかどうかを確認する大切な届です。届け出が遅れたり、忘れたりしますと、次回からの年金の支払いが遅れたり、止められますので、必ず年金係へ提出して下さい。



ご協力ください

道路台帳の整備

町では道路法の規定により、道路台帳を作成、整備することになりました。これは、町が管理する道路の維持管理および道路行政に必要な道路台帳を整備するための大切な作業です。

五月二十日ごろから町内全域にわたって現地調査を行います。その際、道路縁から左右二十センチの範囲で測量を行いますので、個人所有地への立入りが必要となります。

現地調査中、関係者の皆さんにはたいへんご迷惑をおかけしますが、よろしくご協力ください。

事業主の皆さんへ

労働保険の申告

納付はお早めに

昭和五十九年度の労働保険料（労災保険・雇用保険）の申告、納付の時期がきました。五月十五日が最終期限になっていますので、早めに手続きをすませて下さい。

労働保健申告手続きでご不明の点がありましたら、愛媛労働基準局0899(25)2101、または最寄りの労働基準監督署にお問い合わせ下さい。

青い鳥郵便

はがきを発売

身体障害者福祉強調運動

身体障害者福祉強調運動にちな

んで、皆さんの理解と関心を高めるため、青い鳥の郵便はがきを四月二十日から発売しています。

郵政省では、重度の身体障害者（一、二級）で手帳を持っておられる満六歳以上の方に、青い鳥はがきを一人二十枚さし上げます。

ご希望の方は、手帳を持って郵便局へ申し出て下さい。代理の方か郵便による申し出でも結構です。受付期間は、四月二日から六月一日までです。申し出の用紙は、各郵便局か福祉事務所に備えてあります。

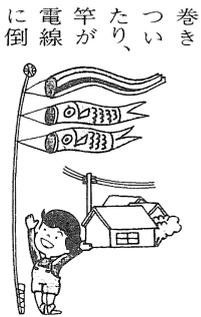
詳しいことは、郵便局でお尋ね下さい。

鯉のぼりによる

感電事故を防ごう

お子様の元気な成長を祝う「このぼり」の季節です。鯉のぼりの竿が電線にさわったり、倒れかかって感電事故をおこすことがあります。鯉のぼりをおたてになるときは次のことにご注意下さい。

- ◎竿は金属製のものより、よく乾いた竹や木のものにしましょう。
- ◎鯉のぼりや吹き流しが、電線に巻きつかぬよう、電線から十分離れた所にたてましょう。
- ◎鯉のぼりや吹き流しが、電線に巻きつかぬよう、電線から十分離れた所にたてましょう。



れかかったときは、絶対に手を触れないで、もよりの四国電力営業所へご連絡下さい。

労働条件の向上と

生活の安定を

家内労働者間

5月21日～31日

内職の仕事を出す業者の皆さんは次のことを守りましょう。

- ①家内労働手帳に工賃額、支払日などを記入し、交付する。
- ②最低工賃額以上の工賃の支払いをする。
- ③災害防止装置などの取り付けを行う。

家内労働者（内職者）の皆さんは次のことに注意しましょう。

- ①家内労働手帳を必ず受け取り、委託条件の確認をする。
- ②有機溶剤や鉛を使用する際の中毒や火災に注意する。

特定の危険有害作業に従事する人は、労災保険に特別加入できません。

家内労働法についてのご相談、問い合わせは、愛媛労働基準局賃金課（☎0899-2101）または八幡浜労働基準監督署（☎0894-221-1750）へどうぞ。

基本的人権

の尊重を

憲法週間

5月1日～7日

五月三日の憲法記念日を中心に、五月一日から七日までの一週間は憲法週間です。

5月10日～16日

愛鳥週間

鳥の共存をめざして

日本国憲法は「基本的人権の尊重」を基本原則の一つとしています。

この基本的人権とは「われわれ人間が人間として生きていくためにもっている最も大切な権利」です。

最近の社会情勢から見ると、憲法が保障する人権は、残念ながら正しく認識されているとはいえない状態です。自己の権利、利益のみを主張し、他人の立場を認めないために起る問題が見うけられます。

もう一度憲法の精神を十分に理解し、まず相手の立場を考えて豊かな人間関係をつくるよう心がけましょう。

皆さんのなかで人権を侵されたり、侵されそうになった方は、お近くの人権擁護委員、または法務局あるいはその支局にお気軽にご相談ください。

相談は無料で、秘密は守られます。なお、長浜町の人権擁護委員は次の方々です。

熊野熊雄さん（長浜）、土居孝重さん（柴）、平田三盛さん（出海）

自衛官募集中

陸・海・空

一、応募資格
 十八歳以上、二十五歳未満の日本国籍を有する心身共に健全な男子で、中学校卒業以上の学力のある者。

三試験期日および試験場へ受付のときお知らせします。

三試験科目 筆記試験(国語、数学、社会、作文)・身体検査・口述試験・適性検査

四その他 いろいろ詳しいことは、役場住民課または、自衛隊愛媛地方連絡部大洲募集事務所(☎0893-241412)へどうぞ。

寄付採納

○出海保育所母親クラブ：サンデ
ンオイルヒーター石油ストーブ、
ターボ三輪車を出海保育所へ。
○昭和五十八年度櫛生保育所卒園



「散る桜海青ければ海に散る」五十年ほど前に、ある文芸雑誌の投稿欄で見た入選句で、何と美しい俳句だろうと感動した。ところが最近「散る桜残る桜も散る桜」という句を耳にした。句の成立については全く知らないが、よく似た句調に心をひかれた。日本人特有の無常感が濃く漂っているように思えるが、この句を口ずさんだのは卒業生を送った校長ではなかったか。卒業生と在校生を桜に見立てての感慨ではなかったか▲桜は完全に散り終って、まさに葉桜の候。きらびやかな花は散っても青葉若葉の匂いは又格別、生命の息吹きはいささかも衰えてはいない▲無常と無情の語呂が等しいため、混同されたり誤った解釈ががちだが、無常変転は宇宙森羅万象の本然の姿、卒業もあれば入学もあり就職もあれば退職もある。四季それぞれに草木のすがたの移り変わりが繰り返されるが、変らないのは営々たる生命の目に見えない力。その生命の中から愛情が発動して来るのが人間、愛情の発露が薄れて白けた社会を無情な世の中という。天地有情の世界をつくるのが人間最大のつとめと知る。



結婚

3月長浜町役場届出分(敬称略)



3月のトップは
亀井繁男・美津子さんのカップル

住所	氏名	婚姻届時年齢
大洲市	宮岡美津子	(二二)
下須戒	亀井繁男	(三二)
大洲市	渡邊重久	(三〇)
柴本市	森本眞智子	(三〇)
長浜市	池田富子	(三〇)
下須戒	白井早苗	(二四)
下須戒	向井敏範	(二四)
沖櫛浦生	沖野英勝美	(二六)

児保護者一同：ボールラック、ボールの空気入れを櫛生保育所へ。

○長浜囲碁愛好会(会長・大野豊さん)：壁時計を高齢者コミュニティセンターへ。

お誕生おめでとう!!

3月届出分(敬称略)

住所	保護者氏名	続柄	児名
住所	寺岡正志	二男	英昭
長浜	上田隆廣	長男	純也
沖櫛浦	戎徹	長男	晃弘
長浜	久保勝義	二女	恵愛
穂積	武内勝利	長男	潤
長浜	鎌田充	長男	富美之
白滝	藤岡泰治	三女	絵美
長浜	稲田宏	長女	愛
下須戒	水本鏡一	長男	力
長浜	河村典一	長女	菜津子
穂積	久保文雄	二女	美由紀
白滝	清水丈司	長男	純一
出海	中伊弘行	長男	美善也
沖櫛浦	篠原輝行	長男	裕伸
長浜	井上豊	長男	善尊

おくやみ

3月届出分(敬称略)

住所	氏名	死亡時年齢
住所	石井コフユ	(九一)
白滝	池下喜吉	(七六)
今坊	中野勅滋	(七五)
白滝	川崎ミヤコ	(六一)

共同電話

ご承知のように共同電話は、1本の線を2軒が共用していますので、相手の方がお話し中だと使えません。

単独電話に変更ご希望の方は、お気軽に電報電話局へご相談ください。

伊予長浜電報電話局 ☎52-0000



電報コーナー

長浜	藤岡トラエ	(六六)
柴山	山下見芳	(九三)
豊高	高橋トラヨ	(八八)
白滝	植本勇	(八〇)
長浜	酒井岩雄	(四九)
石村	典子	(五九)

人口世帯数

楽しく住みよい町、豊かで働きがいのある町
 美しい人情と文化の町をつくり、人口をふやしましょう

	4月1日現在	前月との比較
人口	12,449人 (男 5,897人 女 6,552人)	32人減 (6人減 26人減)
世帯数	3,874世帯	5世帯減



今年も早いもので、この頃のぼりの季節を迎えました。まっ青な空に親子仲よく泳いでいる姿をみていると、なんとなく心の安らぎを覚えます。

ところで日米農産物の交渉も、日本の柑橘、畜産農家にとってはたいへん厳しいものとなったようです。長浜町にとってもみかんは主要産物であり、今後の動向が心配されますが、行政と生産者、消費者が一丸となって足腰の強い農家になって欲しいものです。

四月の異動で広報編集も新しいスタッフを迎えて取り組んでいます。今まで以上に皆さんからの情報を待っていますので、宜しくお願いします。(お)

編集後記